

《1 目標》
探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。

(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

《2 横須賀市教育振興基本計画及び本校のスクール・ミッション》
横須賀の目指す教育の姿 “あなたが好き 私が好き 横須賀が好き と誇れる人づくり”

《3 スクール・ポリシー(学校教育目標)》
一人一人の良さを伸ばし、自ら学び、主体的に考え判断し、行動できる、心豊かでたくましく生きる力に溢れた人間を育成する ～あたたかく、活力があり、愛し愛される学校～

◆グアダニエーション・ポリシー
○自立心・自律心と責任感 ・自他ともに尊重できる心
○自己の将来の夢を真摯に見つめ努力する力

◆カリキュラム・ポリシー
○総合学科の特色を生かし、個々の目標に沿ったキャリア教育(自己選択・自己責任)
○「産業社会と人間」で、自己と社会理解、将来の生き方や進路についての考察

◆アドミッション・ポリシー
○自分の夢や目標実現等、高い目的意識をもっている(もとうとする)生徒
○自分の可能性を信じ、より意欲的に努力を続けられる生徒

《5 探究の見方・考え方》
各教科等における見方・考え方を総合的・統合的に活用して、広範で複雑な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究し、自己の在り方生き方を問い続けること。

《4 本校の実態》
○課程等: 全日制 単位制 総合学科
○系列: 国際人文、自然科学、生活・福祉、体育・健康、芸術、情報、ビジネス、工学
○原則履修科目: 産業社会と人間 1年次2単位
○総合的な探究の時間 2年次2単位 3年次1単位

《6 「産業社会と人間」の目標》
探究の見方・考え方を働かせ、産業社会における自己の在り方生き方について考え、社会に積極的に寄与し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養う。また、生徒が自己の進路に応じ主体的に各教科・科目の選択ができるように体験的な学習や調査・研究や発表・討論などの生徒の主体的な活動を重視した学習方法などを通して以下の内容を育成する。

(1) 社会生活や職業生活に必要な基本的な能力や態度及び望ましい勤労観、職業観
(2) 我が国の産業の発展とそれがもたらした社会の変化についての考察
(3) 自己の将来の生き方や進路についての考察及び各教科・科目の履修計画

《7 総合的な探究の時間「羅針」の目標》
探究の見方・考え方を働かせ、自ら学び、主体的に考え、自己と社会状況の将来についての横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成する。

(1) 自己と社会状況の将来についての探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 【知識及び技能】

(2) 実社会や実生活と自己と社会状況の将来についての関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、広い範囲から情報を効果的に集め、多角的・实际的に整理・分析し、論理的にまとめ・表現することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】

(3) 自己と社会状況の将来についての探究に主体的・協働的に取り組むとともに、建設的思考のもとに互いのよさを生かしながら、多様性を尊重して新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】

《8 探究課題の内容と育成を目指す資質・能力》

年次	目標を実現するにふさわしい探究課題	探究課題の解決を通して育成を目指す 具体的な資質・能力		
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
1	産業社会と人間 自己を知る 産業職業調べ 履修計画 探究活動	・探究の意義や価値を理解し、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成する。	探究の過程 課題の設定 ・実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で適切に課題を立てる。 情報の収集 ・設定した課題から、有用かつ多様な情報を自覚的に適切な方法で収集する。 整理・分析 ・多角的に分析・考察しながら問題を解決している。 ・比較、分類、序列化、類推、関連付けして考えたり、原因や結果に着目したりして考える。	主体性 ・自ら目標に基づき見通しをもって学び、課題の解決に粘り強く取り組み、振り返って将来につなげようとする。 多様性 ・探究的な活動を通して、自他や社会には様々な考えや状況があることを受け入れ、尊重する。 協働性 ・自他の良さを生かしながら、協力して課題の解決に向けて探究活動に取り組む。
2	総合的な探究の時間「羅針」 進路研究 履修計画 課題研究 I		まとめ・表現 ・研究の過程や成果を、自らの考えを含め、論理的・効果的にまとめて発表する。 ・自己の在り方・生き方について真摯に考え、生活の中で生かす。	
3	課題研究 II ① 現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題(国際理解、情報、環境、福祉、健康などでSDGsを意識) ② 地域や学校の特色に応じた課題 ③ 生徒の興味・関心に基づく課題 ④ 職業や自己の進路に関する課題			

《情報活用能力》
・探究の過程において、コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切かつ効果的に活用して、情報を収集・整理・発信するなどの学習活動

《言語能力》
・他者と協働して課題を解決しようとする学習活動
・言語によりまとめたり表現したりするなどの学習活動

相互に関連付け、学習や生活において生かし、それらが総合的に働くようにする

他教科・科目等で身に付けた資質・能力

《学習活動》
生徒の興味・関心、進路等に応じて設定した課題について知識や技能の深化、総合化を図る。

《指導方法》
各教科、科目との関連を重視し、コンピュータやICT機器を活用する。

《指導体制》
全校指導体制を組織し、校内施設の活用・充実を図る。

《学習評価》
評価の観点や評価規準を教員間で確認し、生徒を多面的に捉え、多様な評価方法や評価者により行う。